

ME9115

ETCとITSスポットに対応

■データのセーブ/ロード

WCNと電界強度データを各々100個セーブ、画面にロード

■USB通信

セーブデータをUSB通信でPCへ転送

■簡単操作

操作は多方向スイッチ1つのみ、煩わしい操作はなし



機器の説明

DSRC通信ユニットは、下表に示すように4モデルをラインアップしています。大きくは、WCN読み取りと電界強度測定に分類することができます。データのセーブ/ロードとUSB通信機能も搭載しています。

モデル名	機能
ME9115A	車載器のWCNを読み取って12桁のID番号を表示する
ME9115C	路側機と車載器の電界強度を測定する
ME9115A+C	ME9115AとME9115Cの複合機
ME9115CN	走行車両から路側機の電界強度を測定する。車載器の電界強度も測定できる

■WCN読み取り

ME9115AとME9115A+CがWCN読み取り機能を搭載しています。下記画面はWCNを読み取った画面です。駐車場管理システムや自動車ディーラ等の来場者管理システムに応用することができます。

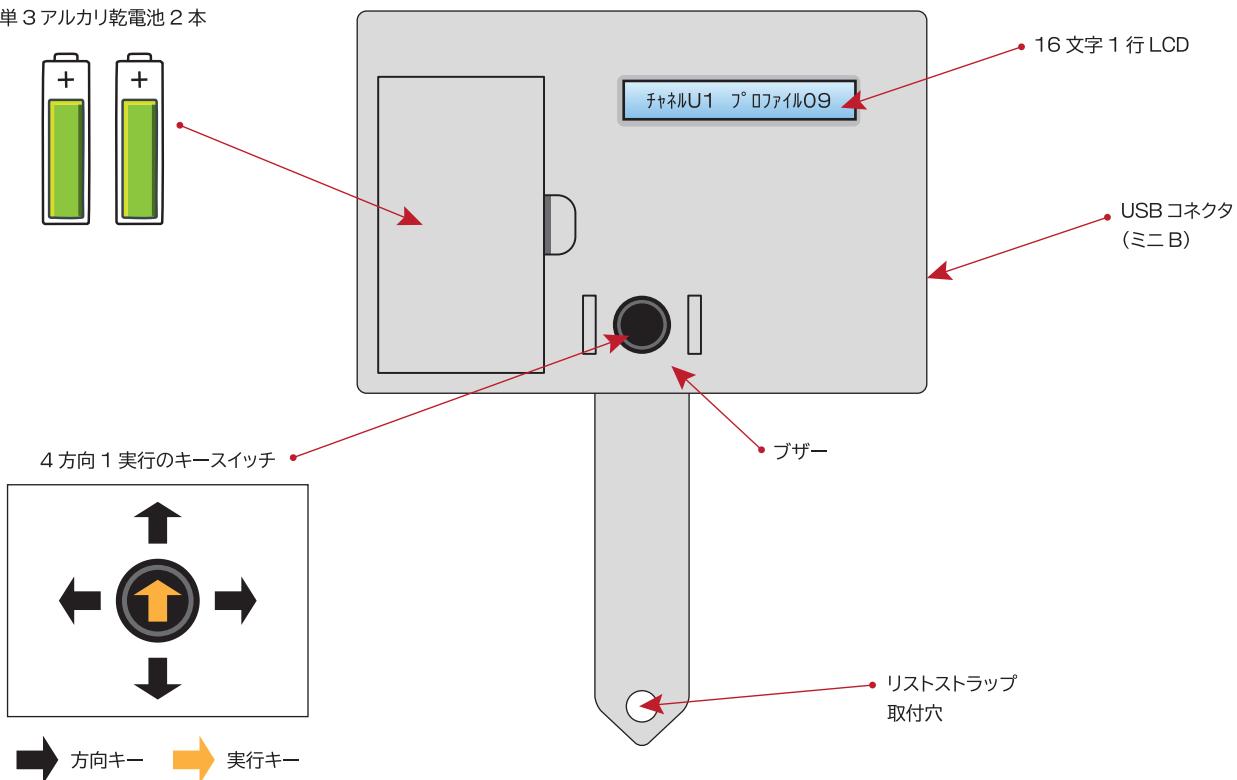
003 057289129

■電界強度測定

ME9115C、ME9115A+CおよびME9115CNが電界強度測定機能を搭載しています。路側機と車載器の電界強度を測定することができます。下記画面は電界強度を測定した画面です。

U1:-49. 5dBmeirp

単3アルカリ乾電池2本



電界強度測定

路側機と車載器のいずれも、またASKとQPSKのいずれの電界強度も測定することができます。
さらに、運用波であるバースト波でも、ASKではピーク電界強度を、QPSKではバースト内平均電界強度を測定することができます。
測定結果は下記画面となります。

U1:-49.5dBmeirp

■チャネルの設定

車載器あるいは路側機の各々アチャネルから選択します。

車載器		路側機	
チャネル	搬送波周波数 (MHz)	チャネル	搬送波周波数 (MHz)
U1	5835	D1	5795
U2	5845	D2	5805
U3	5840	D3	5800
U4	5830	D4	5790
U5	5825	D5	5785
U6	5820	D6	5780
U7	5815	D7	5775

■プロファイルの設定

プロファイルの設定で、ASKかQPSKかを選択します。路側機はFCMCを測定し、車載器はACTCを測定します。ASKの電界強度はP9～P11のいずれか、QPSKはP12に設定します。

項目	P9	P10	P11	P12
路側機 (FCMC測定)	ASK	ASK	ASK	ASK
車載器 (ACTC測定)	ASK	ASK	ASK	ASK
チャネル数	2	7	7	7

■温度の設定

電界強度測定において、測定値は温度特性を持っています。周囲温度を設定することにより温度補正が行われます。
温度の設定:【0°C以下、0～15°C、15～30°C、30°C以上】の4ポイントです。
周囲温度に合わせて設定します。

■車載器の電界強度測定

車載器の電界強度を測定する場合は、ME9115からFCMCを送信して、車載器から返ってくるACTCの電界強度を測定します。
したがって、車載器を測定のために特別なモードに設定する必要はありません。

■走行車両からの電界強度測定

車両で走行しながら高速道路のITSスポット(路側機)などを測定する場合、ME9115C/A+Cのように測定時間が3秒では短過ぎます。
走行車両から電界強度を確実に測定するため、ME9115CNでは測定開始から次に実行キーを押すまで測定を継続します。ただし、測定時間は3～60秒で、60秒経過して実行キーが押されないと測定は自動的に終了します。

■測定値

ME9115C/A+Cでは路側機、車載器とも3秒間、ME9115CNでは車載器は3秒間ですが、路側機は最長60秒間測定します。
3秒あるいは60秒間に数万データを取得し、その中の最大値を表示します。
ME9115を被測定物に向け、3あるいは60秒間に方向や角度を変えて測定すると最大測定値が得られます。
測定範囲は、-35～-80dBmeirpです。なお、電界強度の単位はARIB規格に準拠してdBmeirpを使用しています。電界強度の単位をdB μ V/mに変換する場合は、下式を使用します。

$$\text{電界強度 (dB } \mu \text{V/m}) = (\text{dBmeirp 値}) + 152.5 \text{dB@5.81GHz}$$

WCN の読み取り

車載器の1台1台に付けられたID番号であるWCN(Wireless Call Number)を利用することによって、駐車場管理システムや自動車ディーラ・ショッピングセンター等の来場者管理システムに応用することができます。読み取った12桁のWCNは、下記画面のように表示されます。

003 057289129

読み取りができなかったときは、下記画面のように表示されます。

データのセーブ / ロード

WCNと電界強度の測定データを各々最大100個まで不揮発性メモリにセーブすることができます。測定データは測定する毎に00～99の番号が付けられ自動的にセーブされます。WCNの場合、同じID番号がすでに保存されていればセーブされません。

ロードは下記画面のように表示されます。

38 -49. 5dBmeirp

USB 通信

ME9115はリムーバブルディスクとして動作しますので、メモリにセーブされた測定データをUSBインターフェースを介してPCへ転送することができます。ME9115とPCをUSBケーブルで接続すると下記画面のように表示され、ケーブルを外すと元の画面に戻ります。

USB セツヅク チュウ

なお、USBケーブルはME9115の全4モデルに標準附属品として添付されます。

ブザー音

キー操作、試験 / 測定中、結果および異常状態の時、LCD画面のほか、下表に示すようにブザーでも状態を確認することができます。試験中にLCD画面から目が離れていても状態を把握できるので大変便利です。

項目	ブザー音	
キー操作	1回短音	-
試験 / 測定中	短断続音	-----
結果	正常	無音
	異常	連続音
異常状態	電池切れ	長断続音
	キャリアを検出	長短断続音
	機器異常	3回短断続音無音

RSU キャリア検出機能

近くに運用中の路側機(RSU)がある場合、これに影響を与えてはいけません。そこで、ME9115は最初に路側機のキャリア検出を行い、キャリアがあれば以降の試験を停止します。

キャリア検出レベルは約 -78dBmeirp です。キャリアが検出された時は、下記画面が表示されます。この場合、周辺に路側機があるか確認し、ある場合はさらに離れた場所で試験を行って下さい。

ただし、ME9115C/A+C/CNにおいて、路側機の電界強度測定のみ本機能は動作しません。

キャリアセンス □■■■

電池の残量表示

電池の残量は下表に示すように6段階で、LCD画面の右端に表示されます。なお、電池残量0%の時は下記画面が表示され、以降の使用はできません。新しい乾電池に交換してください。

乾電池は電池容量の点からアルカリ乾電池をおすすめします。

デンチコウカン □□□□

LCD表示	電池残量
デンチコウカン □□□□	0%
□□□□	0超～10%以下
□□□■	10超～35%以下
□□■■	35超～60%以下
□■■■	60超～85%以下
■■■■	85超～100%以下

自己チェック機能

試験開始の実行キーを押すと、ME9115は試験前に、CPU内RAMと外部RAMのリード / ライトチェックおよびプログラムROMのチェックサムを行います。異常があれば下記画面を表示して、以降の動作を停止します。

キキイジョウ □■■■

セットアップパワーオフ機能

電源をオンした時のチャネル、プロファイルおよび温度の設定値は、前回電源をオフした時の設定値となります。したがって、同じ設定で試験や測定をする場合大変便利です。

オートパワーオフ機能

ME9115は電源オフの選択メニューがありますので、通常はこれで電源をオフします。しかし、電源をオフし忘れた場合でも最後のキー操作から5分後に電源は自動的にオフします。

Specifications

■送信特性

送信周波数	5775, 5780, 5785, 5790, 5795, 5800, 5805MHz
確度	±5ppm以内
送信電力	-1.7±1.9dBmeirp以内@ASKはピーク電力、QPSKはバースト内平均電力
スブリアス発射又は不要発射の強度	スブリアス領域 :2.5μW以下 帯域外領域 :25μW以下 境界の周波数 :搬送波±12.2MHz
占有周波数帯幅	4.4MHz以下
隣接チャネル漏洩電力	-30dBc以下@5±2.2MHz -40dBc以下@10±2.2MHz ※ASKはピーク電力、QPSKはバースト内平均電力
キャリアオフ時漏洩電力	2.5μW以下
信号伝送速度	1024kbps@ASK 4096kbps@QPSK
確度	±100ppm以内
変調指数 / 精度	0.75以上@変調指数(ASK) 10.0%以下@変調精度(QPSK)

■受信特性

受信周波数	5815, 5820, 5825, 5830, 5835, 5840, 5845MHz
受信感度	約-48dBmeirp@本器前面にて ※ASKはピーク電力、QPSKはバースト内平均電力。 かつME9115A/A+Cのみ。
副次的に発する電波の強度	2.5μW以下
最大許容入力	+3dBmeirp@本器前面にて

■通信特性

変調方式	ASK変調、π/4QPSK変調
通信プロファイル	プロファイル9~12に対応
通信方式	半二重
通信形態	ポイント-to-ポイント(車載器1台との通信)
SAM	無し

■WCNの読み取り(ME9115A/A+Cのみ)

読み取り対象	車載器
チャネル	全7チャネル
プロファイル	全4プロファイル

■電界強度測定(ME9115C/A+C/CNのみ)

測定対象	路側機及び車載器
測定周波数	車載器:5815, 5820, 5825, 5830, 5835, 5840, 5845MHz 路側機:5775, 5780, 5785, 5790, 5795, 5800, 5805MHz
電界強度	
測定範囲	-35.0~ -80.0dBmeirp@本器前面にて
測定分解能	0.1dB

■USB通信

バージョン	USB2.0準拠
転送速度	フルスピード
コネクタ	ミニBコネクタ

■試験内容

A	:車載器のWCN読み取り
C	:路側機と車載器の電界強度測定
A+C	:モデルAとモデルCの複合機
CN	:走行車両からの電界強度測定

■その他機能

- データのセーブ/ロード
- ブザー音
- RSUキャリア検出機能
- 電池の残量表示
- 自己チェック機能
- セットアップ/パワーオフ機能
- オートパワーオフ機能
- 温度補正(ME9115C/CN/A+Cのみ)

■一般性能

表示器	16文字1行LCD
電源	単3アルカリ乾電池2本
動作温度	-10~+45°C
保存温度	-20~+65°C
耐水性	JIS C0920 防滴I型相当 (高さ200mm、降水量1mm/分、10分間滴下)
大きさ	138(W)×101(H)×30(D)mm(把手、突起物含まず)
重さ	約250g
標準附属品	アルカリ乾電池2本、USBケーブル、取扱説明書

※仕様・形状は、事前の断りなしに変更されることがあります。※実際の色とは異なることがあります。ご了承ください。

MICRONIX

マイクロニクス株式会社

〒192-0045 東京都八王子市大和田町2-21-2

TEL:042-649-3889 FAX:042-649-2113

URL : <https://micronix-jp.com/>

取扱店



DO2511